

「釧路港国際物流ターミナル整備事業」が

日本港湾協会技術賞を受賞

公益社団法人日本港湾協会では、港湾及び港灣を取り巻く地域の振興に顕著な貢献をした人物、事業等に対して毎年表彰しており、この度、「釧路港国際物流ターミナル整備事業」が、日本港湾協会技術賞を受賞しましたので、お知らせします。

5月22日（水）に新潟市内で開催された日本港湾協会総会において、北海道開発局釧路開発建設部釧路港湾事務所、釧路市、釧路西港開発埠頭株式会社に対して日本港湾協会技術賞が授与されました。（別紙参照）

「釧路港国際物流ターミナル整備事業」は、北米に最も近い穀物取扱港である国際バルク戦略港湾・釧路港において、北海道・東北地方等の穀物の安定的かつ安価な輸入の実現を図るため、西港区第2埠頭地区に水深14m岸壁等を擁する国際物流ターミナルを整備したもので、平成31年3月に運営開始しました。

本施設の整備に当たっては、穀物の荷役中断リスクを低減するため、ベルトコンベア下の床版に塩害劣化のおそれがない炭素繊維複合材を採用するなど、災害に強く長期間利用するための工夫を行いました。本施設の整備により釧路港をファーストポートとした大型船の共同輸送による効率的な海上輸送網が構築され、海上輸送コストの削減が期待されます。

※「国際バルク戦略港湾」とは、我が国の産業や国民生活に欠かせない物資である鉄鉱石、石炭、穀物の安価かつ安定的な輸送を実現するため、バルク貨物（梱包をせず、船に直接積み込む貨物）の輸入拠点として、国土交通省が選定した港湾のこと。

【問合せ先】

国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部

築港課 課長 山下 香、上席築港専門官 下口 由晃（電話 0154-24-7326）

釧路港湾事務所 計画・保全課 課長 三岡 照之（電話 0154-51-4381）



日本港湾協会技術賞の授与状況



授与状況 (釧路西港開発埠頭(株) 鈴木代表取締役社長)



授与状況 (釧路市 伴副市長)

表彰式：令和元年5月22日(水)
新潟市(朱鷺メッセ)

登壇者：釧路西港開発埠頭株式会社 鈴木代表取締役社長
釧路市 伴副市長
北海道開発局港湾空港部 松良港湾計画課長

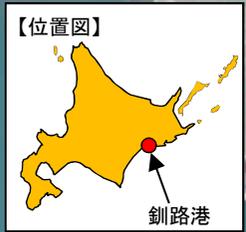
※日本港湾協会技術賞

「公益社団法人日本港湾協会」(東京都港区赤坂)が行う表彰で、「港湾の整備及び管理、並びに港湾海岸・防災の整備及び管理等に関するもので、特に優れた技術を実施した個人又は団体」に授与されるものです。

国際バルク戦略港湾 釧路港国際物流ターミナル整備事業

◇北米に最も近い穀物取扱港である釧路港において、北海道・東北地方等の穀物の安定的かつ安価な輸入の実現を図るため、水深14m岸壁等を擁する国際物流ターミナルを整備。
 (平成23年5月:国際バルク戦略港湾に選定、平成28年2月:特定貨物輸入拠点港湾に指定)

<整備箇所>



【整備施設】岸壁(水深14m)、泊地(水深14m)、航路・泊地(水深14m)、荷役機械(補助)

<現況>

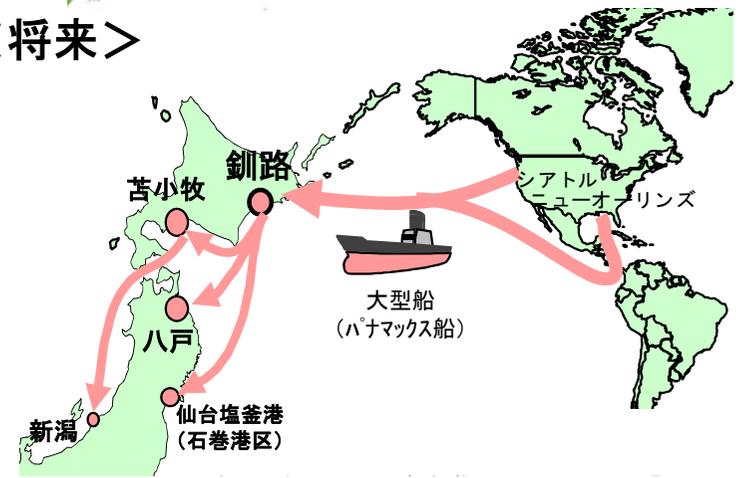


撮影: 令和元年5月14日

<現状>



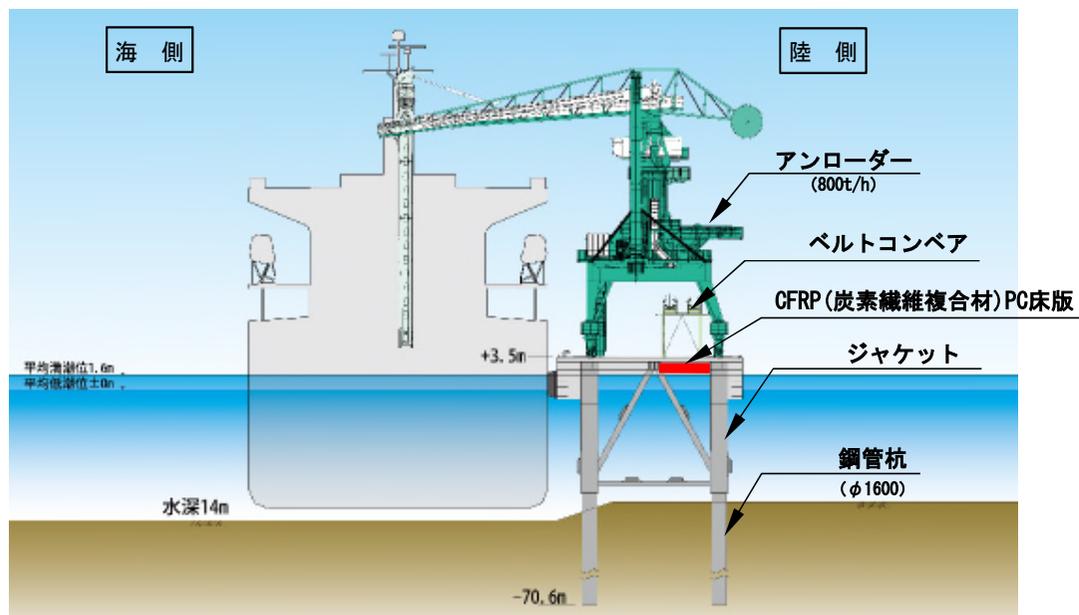
<将来>



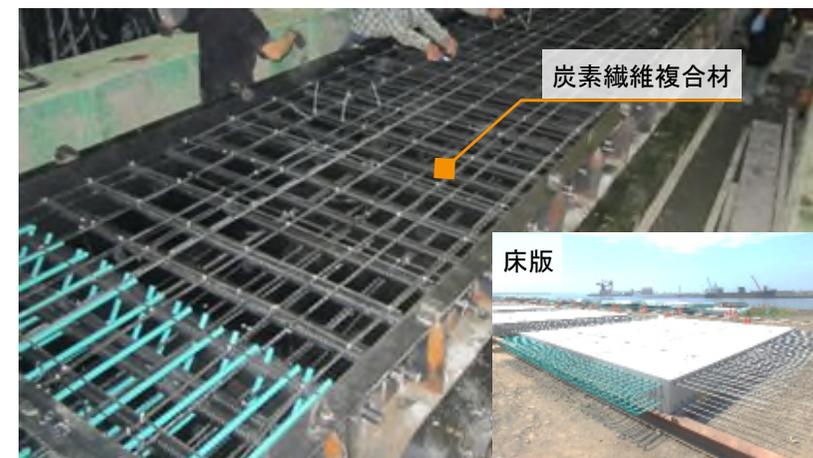
<効果>

◇大型船での穀物一括大量輸送と連携対象港との複数港寄りによる
効率的な海上輸送網の形成

災害に強く長期間利用するための工夫(長寿命化・強靱化)



■ 更新時の荷役停止を回避する床版の長寿命化



部品交換時の荷役停止を回避するため、ベルトコンベア・中継建屋の直下に、防サビ効果が高く交換頻度の少ない炭素繊維複合材を用いた床版を採用

■ 金属腐食を防ぐジャケットの長寿命化



ジャケットの設置箇所は、潮の干満や波しぶきが激しいため、サビや腐食を防ぎ、長期の耐久性が期待できる金属被覆と超厚膜形塗装を採用

■ 免震装置を備えるアンローダーの強靱化



大規模地震発生時に穀物の拠点港として、ターミナル機能の速やかな復旧・再開を図るため、免震装置を装備したアンローダーを採用